校種別研究　　平成２１・２２年度　　高等学校部研究推進計画　　二年次計画
【研究テーマ】　「性教育における理論と実践の検討」 ～　養護教諭の「性教育に関する推進者」としての資質向上のために　～ キーワード：性教育、理論、有効性、推進者、養護教諭

高等学校部研究部長（新潟県立新潟江南高等学校）　鈴木　由紀子

Ⅰ　研究の目的

１　学校内で養護教諭が「性教育に関する推進者としての役割」を一層充実させるために、「性や性教育に関する理論を明確にして示すことができる」ことを目指す。

２　すでに行われている性教育の実践について、実践結果や評価を、外に向けて説明できるように、「生徒に行った性教育実践の有効性を検証し、結果を明確に示すことができる」その具体的な方法を身に付ける。

Ⅱ　研究方法

１　理論的研究　　「性や性教育に関する理論を明確にして示すことができる」について

（１）性や性教育に関する理論（概念や定義など）となる文献を検索し、分析および検討した後、資料を作成する。

【方法】・文献シートを①～⑥に分類して、記載内容に基づいてＫＪ法などで分類し質的研究を行う。

・文献一覧表を作成して各自の学校において活用できるように作業を行う。

【内容】①性とは何か　②性教育とは何か（性の健康教育を含む）　③学校における性教育とは何か（歴史的経緯・性教育における不易と流行など）　④性教育と心の教育および道徳教育とのかかわり　⑤性の自律とは何か（知識・態度・行動）　⑥その他必要と思われること

（２）全県高等学校部研修会で養護教諭の研究活動におけるエビデンスの示し方などについての講演を聴き研究のまとめや考察を行うための方法について参考にする。

（３）「養護教諭用調査用紙」で調査を行い現状を把握する。２１年度全県高等学校部研修会で事前調査、２２年度全県高等学校部研修会で事後調査を実施し、比較をして結果を検討する。

２　実践的研究　　「生徒に行った性教育の実践における有効性を検証し、結果を明確に示すことができる」について

（１）各校で行われた性教育が、生徒に有効であったかを検証する手段や方法を身に付ける。

【方法】・２１年５月～２２年７月までの期間に性教育の実践を行い、実践状況を統一した「実践記録シート」に各学校より記入してもらう。

・「実践記録シート」に記載された内容に基づいて集計をして分類を行い、量的および質的な研究を行い検討を進める。

・性教育関連の講師や連携可能な外部機関の一覧表（内容や費用・連絡先など）の作成をおこない、各学校で活用できるようにする。

（２）有効性の検証

【方法】・１年次におこなったワークシートと電卓だけを使い、誰でもできるカイ二乗検定方法を用いて、自校でおこなった性の指導の集計結果（事前調査・事後

調査）を比較し、指導の有効性を検証する。
・各学校の検定結果に基づいて一覧表を作成し、全県の状況を示し傾向などについて検討する。

Ⅲ　タイムスケジュール（平成 22 年度）

月	研究推進活動	研究誌（耀）	全県研修
5/31（月）	・研究推進計画（案）の検討 ・研究内容と方法の具体的な検討 ・地区研究会への説明について ・予算について ・係分担再確認（項目検討） ・連絡網	・研究内容のまとめ方について	日常活動を含めた写真などによる記録の作成
7月	・研究のまとめかたについての具体的な検討（各担当者からの説明） ・地区研究についての情報交換	・研究誌の編集立案 ・研究誌の原稿分担と作製 ・研究誌のまとめ方について（結果と考察） ・原稿の依頼	全県研修の計画立案 ・日時 ・会場 ・内容、講師 ・１日の流れ ・当日までの係分担 ・その他
8月	・研究誌の内容検討 ・全県研修の確認 ・地区研究の情報交換と確認	・研究誌の内容検討	・全県研修の計画確認 ・準備作業全県研修会の打合せ ・リハーサル
9月	・全県研修会の打ち合わせ	・研究誌の原稿作成	・全県研修の準備と確認
9/17（金）	全　県　研　修　会		
10 月	・研究誌の内容検討	研究誌の原稿検討	
11 月	・研究誌の内容検討 ・本研究の評価	研究誌の原稿提出	
12 月	・研究の評価	研究誌原稿校正	
2月	・今年度の反省 ・時期研究推進委員会への引継ぎ	研究誌配布	

Ⅳ　予算

平成２２年度の予算は３０万円（全県研修会、各地区に配分、事務用品、予備費など）